



# 平成22年6月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年5月7日

上場会社名 株式会社 きちり

上場取引所 大

コード番号 3082 URL <http://www.kichiri.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 平川 昌紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 葛原 昭

TEL 06-6244-5678

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年6月期第3四半期の業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	3,741	1.1	58	24.9	105	117.6	53	877.5
21年6月期第3四半期	3,699	—	46	—	48	—	5	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	6,593.32	6,576.38
21年6月期第3四半期	674.51	673.36

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	2,843	743	25.9	90,343.81
21年6月期	2,677	686	25.5	83,750.49

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 736百万円 21年6月期 682百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年6月期	—	0.00	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年6月期の業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,148	5.5	57	21.1	61	14.2	30	—	3,783.17

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	8,152株	21年6月期	8,152株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	—株	21年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年6月期第3四半期	8,152株	21年6月期第3四半期	8,152株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、世界的な金融危機に伴う長期にわたる景気後退の中にありましたが、海外経済の改善による輸出の増加や各種経済対策を背景に、わずかながら回復の兆しを見せているものの、本格的な景気回復には至っておらず、依然として厳しい環境で推移いたしました。

外食業界におきましては、消費者の節約志向は根強く、同業他社による低価格競争の激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境下のもと、当社は「おもてなしブランド」ナンバーワンを目指し、関西圏での更なるブランド力の向上と関東圏への積極的な店舗展開を行ってまいりました。

当第3四半期累計期間において、京都で1店舗「六角酒場 ちゃぶちゃぶ」、大阪で3店舗「NIPPON BAR smile KI・CHI・RI」「ひな鳥唐揚げ 燦鶴」「KICHIRI smile label」の業態変更を行いました。また、「Casual Dining KICHIRI」を神奈川で1店舗及び東京で2店舗、「純正コラーゲンスープ店」を東京で1店舗、「まなや」を東京で1店舗出店し、事業規模の拡大を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,741百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は58百万円（同24.9%増）、経常利益は105百万円（同117.6%増）、四半期純利益は53百万円（同877.5%増）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は2,843百万円となり、前事業年度末と比較して165百万円増加となりました。

このうち、流動資産合計は668百万円となり、前事業年度末と比較して25百万円増加しております。増加の主な要因は、売掛金が20百万円増加したことによるものであります。

固定資産の合計は2,174百万円となり、前事業年度末と比較して139百万円増加しております。増加の主な要因は、新規店舗出店及び店舗改装により、建物が68百万円、リース資産、器具及び備品等のその他の有形固定資産が72百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は2,099百万円となり、前事業年度末と比較して108百万円増加しております。

このうち、流動負債合計は923百万円となり、前事業年度末と比較して16百万円増加しております。増加の主な要因は、新規店舗出店の為の1年以内返済予定の長期借入金が47百万円増加したこと及び店舗増加に伴う買掛金が19百万円増加したことによるものであります。減少の主な要因は、その他流動負債が50百万円減少した事が挙げられます。

固定負債合計は1,176百万円となり、前事業年度末と比較して91百万円増加しております。増加の主な要因は、新規店舗出店によりリース債務が62百万円増加したこと及びビールメーカーとの専売契約等による長期前受収益が126百万円発生したことによるものであります。減少の主な要因は、長期借入金が77百万円減少した事が挙げられます。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は743百万円となり、前事業年度末と比較して57百万円増加しております。増加の主な要因は、四半期純利益53百万円の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが318百万円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが279百万円の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが50百万円の資金減となりました。その結果、当第3四半期累計期間末の資金残高は、422百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、318百万円のキャッシュ・フローの増加となりました。

主な増加の要因としては、ビールメーカーとの専売契約等による長期前受収益が126百万円増加したこと及び仕入債務が19百万円増加したほか、減価償却費177百万円、税引前四半期純利益102百万円計上したことによるもの

です。

一方、減少の要因としては、ビールメーカーへの契約解約金支払額等で93百万円を計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、279百万円のキャッシュ・フローの減少となりました。

これは主に、新規出店による有形固定資産取得のために218百万円の支出と差入保証金63百万円の差入れを行ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、50百万円のキャッシュ・フローの減少となりました。

これは主に、新規店舗出店のための長期借入れ300百万円を行いました。長期借入金の返済による支出330百万円のほか、リース債務の返済による支出19百万円があったことによるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年6月期の業績予想につきましては、修正を行っておりません。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	422,802	433,854
売掛金	70,299	49,575
原材料及び貯蔵品	32,249	27,461
その他	143,266	132,007
流動資産合計	668,618	642,899
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,235,749	1,167,556
その他(純額)	202,830	129,965
有形固定資産合計	1,438,579	1,297,521
無形固定資産		
	10,744	2,491
投資その他の資産		
差入保証金	659,781	617,250
その他	65,832	117,689
投資その他の資産合計	725,613	734,939
固定資産合計	2,174,937	2,034,952
資産合計	2,843,555	2,677,852
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	133,934	114,012
1年内返済予定の長期借入金	458,956	411,384
未払法人税等	11,193	5,961
店舗閉鎖損失引当金	9,220	14,903
その他	310,046	360,709
流動負債合計	923,350	906,970
固定負債		
長期借入金	886,406	964,206
その他	289,879	120,406
固定負債合計	1,176,285	1,084,612
負債合計	2,099,636	1,991,582
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	360,171	360,171
資本剰余金	320,171	320,171
利益剰余金	56,139	2,391
株主資本合計	736,482	682,733
新株予約権	7,436	3,536
純資産合計	743,919	686,270
負債純資産合計	2,843,555	2,677,852

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	3,699,745	3,741,064
売上原価	1,029,880	1,019,719
売上総利益	2,669,864	2,721,345
販売費及び一般管理費	2,622,945	2,662,740
営業利益	46,918	58,604
営業外収益		
受取利息	139	0
協賛金収入	6,422	49,376
違約金収入	1,680	—
補助金収入	1,628	358
その他	3,274	9,272
営業外収益合計	13,145	59,007
営業外費用		
支払利息	10,219	11,502
その他	1,513	950
営業外費用合計	11,733	12,452
経常利益	48,331	105,160
特別損失		
固定資産除却損	—	0
減損損失	25,245	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	2,850
特別損失合計	25,245	2,850
税引前四半期純利益	23,085	102,310
法人税、住民税及び事業税	37,068	5,128
法人税等調整額	△19,481	43,432
法人税等合計	17,586	48,561
四半期純利益	5,498	53,748

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	1,180,183	1,267,929
売上原価	324,269	349,730
売上総利益	855,914	918,199
販売費及び一般管理費	897,802	895,476
営業利益又は営業損失(△)	△41,887	22,723
営業外収益		
受取利息	30	0
協賛金収入	—	31,974
補助金収入	364	358
受取手数料	984	—
受取保険金	898	355
その他	448	1,051
営業外収益合計	2,726	33,740
営業外費用		
支払利息	3,186	4,144
その他	1,257	680
営業外費用合計	4,443	4,824
経常利益又は経常損失(△)	△43,605	51,639
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△43,605	51,639
法人税、住民税及び事業税	△10,819	1,747
法人税等調整額	△7,807	24,454
法人税等合計	△18,627	26,201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,978	25,438

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	23,085	102,310
減価償却費	175,526	177,117
長期前払費用償却額	9,207	7,980
減損損失	25,245	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△5,683
受取利息	△139	△0
支払利息	10,219	11,502
固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,961	△20,723
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,819	△4,787
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,891	19,922
未収入金の増減額 (△は増加)	43,878	△22,014
未払消費税等の増減額 (△は減少)	28,868	△23,148
未払金の増減額 (△は減少)	20,353	△1,225
未払費用の増減額 (△は減少)	5,689	8,458
その他の資産の増減額 (△は増加)	△20,693	△2,064
その他の負債の増減額 (△は減少)	7,042	150,441
その他	1,951	9,919
小計	319,344	408,003
利息の受取額	139	0
利息の支払額	△10,249	△11,465
契約解約金の支払額	—	△93,405
法人税等の支払額	△64,135	△6,244
法人税等の還付額	—	21,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,099	318,173
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	24,036	—
出資金の回収による収入	—	10
有形固定資産の取得による支出	△382,299	△218,007
無形固定資産の取得による支出	△750	△7,590
長期前払費用の取得による支出	△4,284	—
差入保証金の差入による支出	△86,106	△63,233
差入保証金の回収による収入	118	9,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,286	△279,029
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△255,021	△330,228
リース債務の返済による支出	—	△19,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,979	△50,195
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	40,792	△11,052
現金及び現金同等物の期首残高	268,985	433,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	309,778	422,802

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。